

「平成29年度普及に移す成果」

高品質で機能性に優れた精麦用二条裸麦「キラリモチ」の認定品種採用

みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センター農業研究所

ここがポイント

近年の健康志向の高まりから、生活習慣病の予防に効果のある麦飯が注目されています。特に、精麦用二条裸麦「キラリモチ」は、①高β-グルカン（食物繊維に富む 図1）、②プロアントシアニジンフリー（炊飯後に褐変しにくい 写真1）、③モチ性（良食感）といった機能性をもつため、実需者ニーズが高まっています。そこで、「キラリモチ」の栽培性や、加工適性を評価した結果、収量性は二条大麦「ミカモゴールドン」とほぼ同等で、精麦加工適性と食味官能評価は精麦用六条大麦「シルキースノウ」より優れることから、認定品種に採用しました。

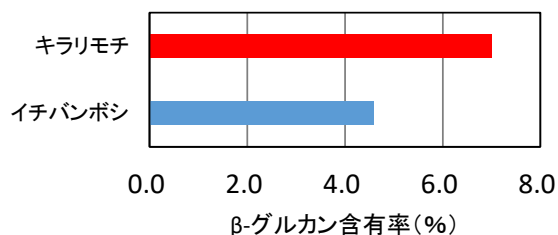


図1 「キラリモチ」と「イチバンボシ」のβ-グルカン含有率

【注釈】西日本農業研究センターの平成18年産データより作成



写真1 「キラリモチ」と「イチバンボシ」の炊飯後の褐変の様子

【注釈】近中四農研ニュース No. 37 (2010. 7) より抜粋

「キラリモチ」の生育特性（「ミカモゴールドン」との比較）

- ・オオムギ縮萎縮病ウイルスⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ型に抵抗性があります。（「ミカモゴールドン」はⅠ・Ⅱ型に抵抗性、Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型に罹病性）
- ・開花性です（「ミカモゴールドン」は閉花性）。
- ・出穂期は同等で、成熟期は2日遅いです（表1）。
- ・短稈で倒伏しにくく、収量性は同等です（表1）。

表1 「キラリモチ」と「ミカモゴールドン」の生育と収量の比較（平成21年～平成28年産の平均値）

| 品種 | 播性程度 | 出穂期 (月.日) | 成熟期 (月.日) | 稈長 (cm) | 穂長 (cm) | 穂数 (本/m ²) | 容積重 (g/l) | 千粒重 (g) | 子実重 (kg/10a) |
|----------|------|--------------|--------------|------------|------------|---------------------------|--------------|------------|-----------------|
| キラリモチ | I | 4.6 | 5.21 | 73 | 6.2 | 841 | 852 | 34.7 | 421 |
| ミカモゴールドン | I | 4.7 | 5.19 | 91 | 5.1 | 775 | 720 | 38.0 | 419 |

【注釈】

- 1) 播性程度：Ⅰ、Ⅱは春播型、Ⅲ、Ⅳは中間型、Ⅴ～Ⅶは秋播型
- 2) 栽培地：茨城県龍ヶ崎市（中粗粒灰色低地土）、播種期：11月上旬



写真2 「キラリモチ」(上)と「ミカモゴールドン」(下)の子実の外観

期待される成果

- ・本県産の麦は麦茶用途が主流ですが、実需者ニーズに応える新たな精麦用産地の形成により、本県の麦作に対する評価の向上が期待できます。
- ・「キラリモチ」は、「ミカモゴールドン」よりオオムギ縮萎縮病抵抗性に優れています。また、経営所得安定対策の数量払いは、裸麦の「キラリモチ」の方が高単価であるため、生産者の収益向上が期待できます。

活用上の留意点

- ・穂発芽性が「易」のため、適期収穫を心掛けましょう。
- ・開花性の六条大麦（「カシマムギ」、「カシマゴール」）が近くにはないほ場を選びましょう。「キラリモチ」がこれらと交雑すると、プロアントシアニジンフリーやモチ性の特性を失う恐れがあります。
- ・出穂期約2週間前に氷点下となる低温に遭遇すると、幼穂凍死や不稔などの凍霜害が発生しやすく、減収する場合があります。
- ・地力が高いほ場や凍霜害の影響により、遅れ穂が発生する傾向があります。
- ・遅れ穂の発生を抑制し、多収を得るには、基肥重点型の施肥法が適しています。

< 問い合わせ先：農業研究所 水田利用研究室・作物研究室 Tel 0297(62)0206、029(239)7212 >